

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		16 01 10	中期総合計画主要施策番号		3-09	担当課	部・課	警察本部 警備第二課	
事業名		災害警備対策事業					内線	4525	
							E-mail	police-keibidaini@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・自然災害、事故災害などの発生時における応急対策を迅速かつ的確に実施し、県民の生命、身体及び財産を守る。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・県内は急峻な地形、脆弱な地質で、危険箇所が多く、孤立危険地域数は、全国第1位であるとともに、小規模噴火した浅間山が今も不安定な状態が続いている状況などから、大規模災害時に迅速・的確な対応を行うための態勢整備が求められている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・地震、異常気象による豪雨災害等の自然災害や事故災害は、いつ発生するか予測不可能であり、災害に対する備えが必要である。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・大規模災害時に迅速、的確な対応をおこなうための精強な機動救助隊の構築を図り、捜索救助能力の強化と装備資機材の継続的な整備を図る必要がある。							
		事業内容	・精強な機動救助隊の構築 ・災害応急対策に必要な物資の備蓄 ・救出の救助用資機材などの整備						
		実施期間	不明 ~	根拠法令等	警察法、災害対策基本法				
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価
・自然災害や事故災害等の発生時に迅速・的確な警備活動ができる態勢を整備する。		・災害等に備え、精強な警備部隊の活動能力を強化する。 ・捜索、救助活動等について、県民や救助隊員の安全確保に必要な装備資機材を整備する。			・各種訓練実施により、有事に即応できる部隊の強化を推進した。 ・部隊活動を補助する資機材を計画的に整備した。 ・1月補正予算で、新型インフルエンザ対策用感染防護キット(2,802セット)等を整備した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	4,087	13,421	3,813	国庫・県単 県単		
	決 算 額 (B)		千円	4,087	11,623		実施方法 直接		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	3,275	2,881	3,813	歳出節別		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.01	0.01	0.01	内訳等		
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	4,158	11,694	3,884	(単位: 千円) ・需要費: 11,333 ・役務費: 290		
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	災害対策用ヘッドライトの整備		個		111		・装備センターの装備として、ジャッキ・スコップ等の救助用品、応急救急セットを整備した。		
	災害対策用非常食		食	5,235	3,770	4,000			
	新型インフルエンザ対策用感染防護キット		セット		2,802				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・大規模な地震や集中豪雨などによる自然災害、大規模事故等の発生に伴い、県民の災害等の対策に対する関心は高く、事業のニーズは依然高い。 ・災害発生時等における個人の生命、身体、財産の保護は警察の責務であり、事業継続は必要である。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・いつ発生するかわからない地震・異常気象による豪雨災害等の自然災害や事故災害等に備え、引き続き、精強な警備部隊の活動能力の強化を図るとともに、必要な物資の備蓄及び装備資機材の充実、整備を図る。						